

第 4 章

NIAD-QE Webinar2019「国際共同教育プログラムにおける質保証の在り方」

4.1 Webinar 2019 の開催目的

Webinar 2019 の開催目的は、第一に、日本の大学の国際化推進に資するため、ダブルディグリーなどの国際共同教育プログラムを国際競争力のあるものとするための、効果的な組織・運営体制、そして必要となる外部支援についての調査「国際共同教育プログラムの構築・運営体制と質保証活動に関する調査」の結果を国際共同教育プログラムの関係者と共有すること、第二に本テーマについて国内外の有識者の講演に加え、本研究の成果をふまえた国際化に向けた効果的な組織・運営体制モデルの紹介、新しい海外パートナー校(国)へのアプローチ方法についての意見交換を行うことである。

講演は効果的なプログラムの組織・運営体制について示唆に富んだ取り組みを行っているプログラム責任者^{*1}と、これから増加すると予想される諸国における海外共同プログラムについての政策の方向性についての深い知見を持つ海外専門家に依頼を行った。

4.2 実施内容

4.2.1 実施概要

4.2.1.1 開催時期

2019(平成 31) 年 2 月 5 日午前 11 時から午後 4 時に実施した。

4.2.1.2 参加者

Webinar 開催のお知らせをヒアリング調査^{*2}協力校、大学改革支援・学位授与機構の NIAD-QE 国際課メールマガジンの登録者、NIAD イベントに関するお知らせ送付の了承を得ている登録者にメールにて送付した。事前登録者数は 77 であった^{*3}。

^{*1} 依頼したプログラムは、「国際共同教育プログラムの構築・運営体制と質保証活動に関する調査」の分析結果をもとに効果的組織であると判断したプログラムである。

^{*2} 「国際共同教育プログラムの構築・運営体制と質保証活動に関する調査」

^{*3} 本 Webinar は途中参加、退席を可能とする柔軟な参加環境としたため、実際の参加者数は不明である。

4.2.1.3 実施方法

Web 会議システム Cisco WebEx を使用した。登録者には事前に WebEx が作動テストの実施を依頼した。Webinar の前日に登録者にはログイン用のリンクを示した招待メールを送付した。

4.2.1.4 構成内容

構成は3部構成であった。

1. 「国際共同教育プログラムの構築・運営体制と質保証活動に関する調査」(結果報告と討論)
2. 質の高い国際共同教育プログラムを継続的に実施するために必要な要因とは(講演と討論)
 - 千葉大学 理事(教育・国際) 渡邊 誠 先生
 - 一橋大学大学院 経営管理研究科国際企業戦略専攻 専攻長 一條 和生 先生
 - 明治大学 副学長(国際交流担当) 大六野 耕作 先生
3. 海外における国際共同教育プログラムに関する政策動向: CLMV (Cambodia, Laos, Myanmar, Vietnam) 諸国に焦点をあてて(講演と討論)
 - SEAMEO RIHED (東南アジア教育大臣機構・高等教育開発センター) Director Dr.Chantavit Sujatanond

4.2.1.5 講演資料

各講演者の講演資料は資料1、2、3である。「国際共同教育プログラムの構築・運営体制と質保証活動に関する調査」の内容については、本報告書3章を参照のこと。

4.2.2 議論・討論

本 Webinar における議論、討論においては以下のような知見が得られた。

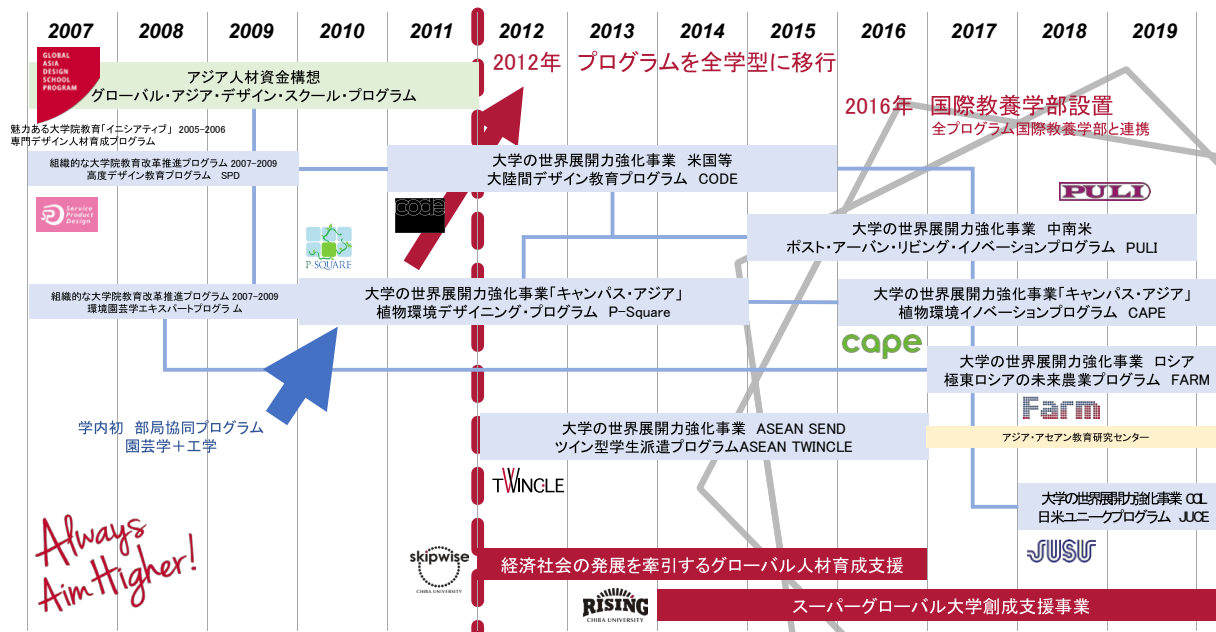
1. 組織体制について
 - 学長のマネジメントが重要である。
 - 成果を運営部局に明確に帰属させるオーナーシップ型の組織づくりが鍵となる。
 - 本部と部局の普段からの意思統一が部局のリーダーシップ発揮につながる。
 - 先導する部局の存在が効果的なプログラム運営につながる。
2. 資金について
 - 資金調達のためには企業との連携も一つの重要な方法である。
 - 社会的な課題解決型のプログラム内容にすることが企業との連携拡充につながる。
 - OB、OG からの寄付金も重要な要素である。
3. 質保証
 - 質の高い継続性のあるプログラムを実施するために重要である。
 - 国際的ネットワークや国際カンファレンスなどを活用していくことで質保証と伴うネットワークを活用し、効果的な質保証を行うことが可能である。
 - 世界的な学位認証をとることが重要である。認証をとるプロセスがプログラムの質を高め、成果としての認証がプログラムの認知度の広がりにつながる。
4. 継続性のある質の高いプログラムを構築するには(その他)

- 学生にとって魅力のあるプログラムにすることが重要である。そのためにはグローバルな視点をもった明確なミッションである必要がある。
- 非学位プログラムから学位プログラムへの段階的なアプローチが望ましい。
- 人文社会分野は人材育成においてどのように国際化していくか課題である。これからは、AIの発達により、実学だけでなく、そのバックグラウンドにあるリベラルアーツの分野が非常に重要になってくる。これからはむしろ重要であるともいえる。

資料 1. 千葉大学：千葉大学における海外共同教育プログラム



千葉大学におけるグローバル・プログラム



本部イニシアチブ&部局オーナーシップ型への移行の道のり

1 キャンパス・アジアで
初の部局協同プログラム

プログラムの実施は園芸+工学+フィールド
授業は園芸・工学の両方に設置
部分的には片方で学生は相互に履修

共通した海外パートナー校
浙江大学・清華大学(中国)
ソウル大学(韓国)
その他マヒドン大学・BITなど

予算は一部局管理(園芸で管理)
工学では一切管理しない
2015年以降は執行は部局+管理は全学

プロジェクトの評価は全学
2012以降はGGJやSGUと一緒に評価



本部イニシアチブ&部局オーナーシップ型への移行の道のり

2 CODEでさまざまなチャレンジ
その成果をGGJに以降

半年間×2回のセメスター留学を実現
4ヶ月の短期プログラムを2つの大学で留学を実現
→(GGJ)半年間の派遣・受入を推奨

デザイン・イングリッシュの実施
英語の授業をブリティッシュ・カウンスルに委託
→(GGJ)イングリッシュ・コミュニケーションを委託

留学専用早期卒業プログラム設置
CODE B7M5
→(GGJ)工学全体へ展開

協定校とのワークショップ型PBLを多数実施
年20回以上のWSを実施
→(GGJ)グローバル・スタディ・プログラムを設置



本部イニシアチブ&部局オーナーシップ型への移行の道のり

3 ツインクルで全学型プログラムを実施
教育学研究科+全研究科で派遣

ツインクルは本部からの提案
本部で全体プランを構築
教育学部でプラン実施を受入

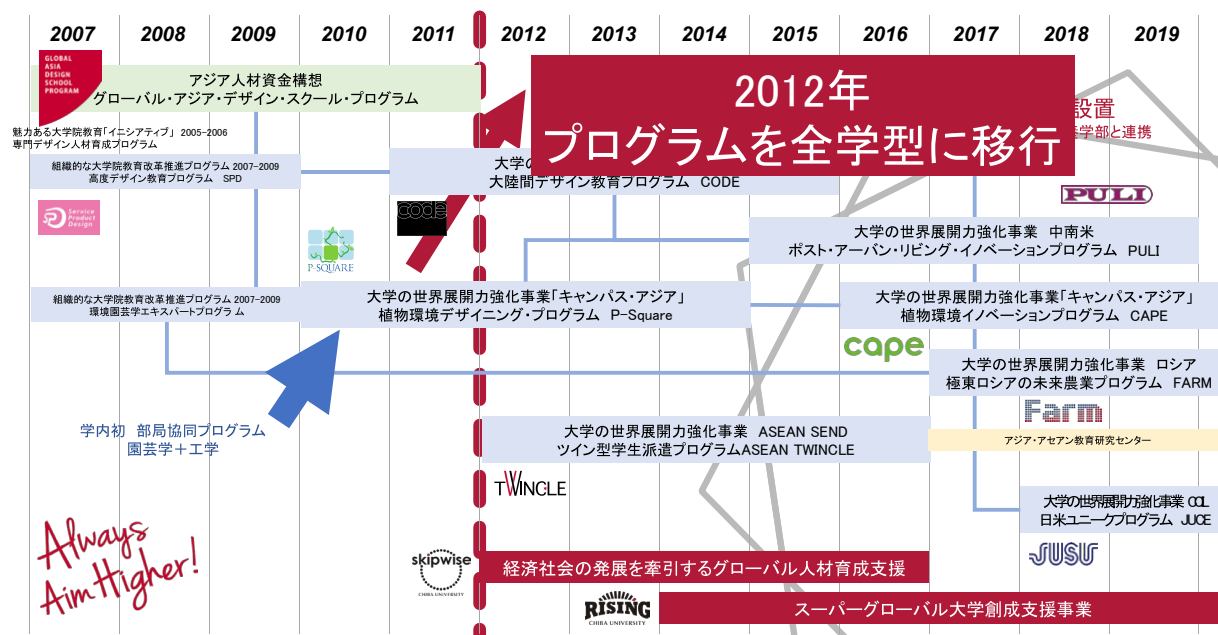
教育をマグネットセンターとして利用
教育が中心となってプログラムを構築
他の研究科の教員も支援
教育と本部で連携先を決定

研究科横断型学生チームを構築し実施
教育学研究科学生+他研究科学生
テーマごとのチームを設置
科学実験 教育+理学+工学
生物・植物 教育+園芸

海外教育実習
協定校の連携する高等学校で実習
千葉大学の附属学校で授業実施



2012年以降のプログラム



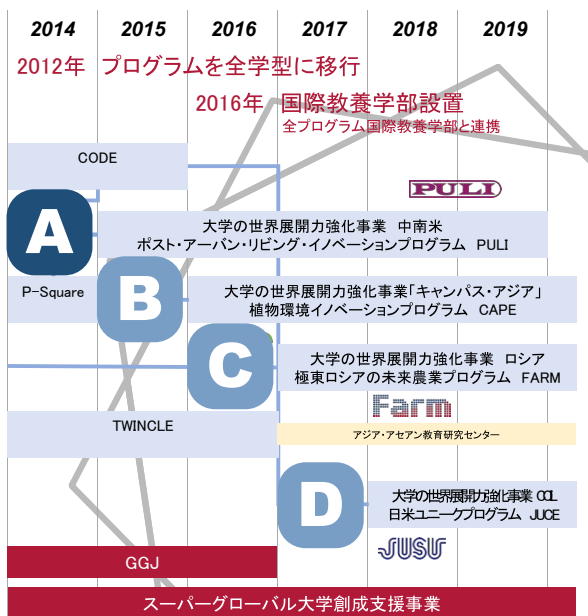
全学提案型 & 複数担当部局オーナーシップ・プログラムへ

A PULI 文化+地域+環境+建築+デザイン

文理混合型のプログラムを実施
本部が新規に計画・立案して申請
オーガナイザー 文学・国際教養・デザイン・建築・園芸

未来を描くための課題を実施
未来のランドスケープ 都市
未来の建築 地域計画、ビル、家
未来のデザイン サービス・デザイン

プロジェクトごとに課題を設定し解決していく
PULI 001 Design Against Crime
PULI 002 Future City by Hydrogen Energy
PULI 003 Metropolitan Structure and Façade
PULI 004 Regional Renewing
PULI 005 Edible Garden Development
PULI 006 Container House Project
PULI 007 Roof Top Gardening
PULI 008 Mexican Culture and Design



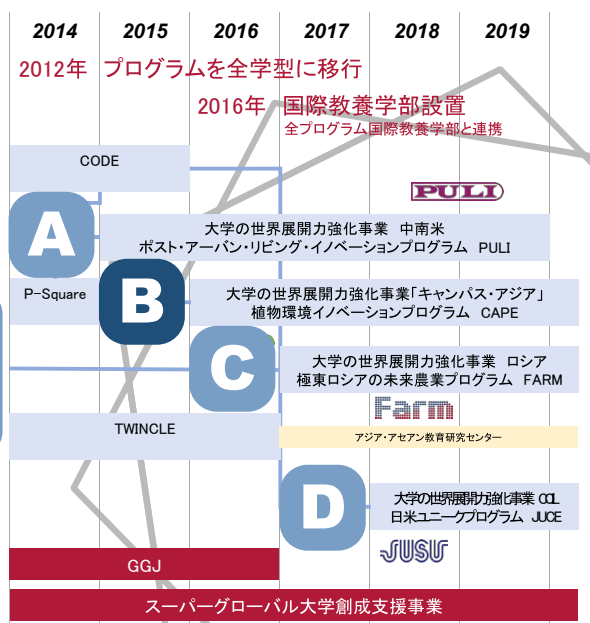
全学提案型 & 複数担当部局オーナーシップ・プログラムへ

B CAPEキャンパス・アジア
農業の高機能未来産業化

本部が計画立案し申請
P-Squareの成果を最大限に利用
本部がこれまでのエビデンスを利用して申請
全体管理を本部
事業管理を部局

農業の6次産業化によるサービス・イノベーション
オーガナイザーを各部局でかつ国ごとに担当
国際教養・デザイン・園芸・フィールド
韓国 延世大学(国際教養+デザイン)
中国 清華大学(園芸+フィールド)
中国 浙江大学(国際教養+デザイン+園芸+フィールド)

多種多様な連携企業
eコマースやネットビジネス会社と積極的に連携
韓国 NAVER(ラインの親会社)
中国 ALIBABA(アリババ本体) KLIGHT(照明会社)
日本 富士通デザイン JDP 全農



全学提案型 & 複数担当部局オーナーシップ・プログラムへ

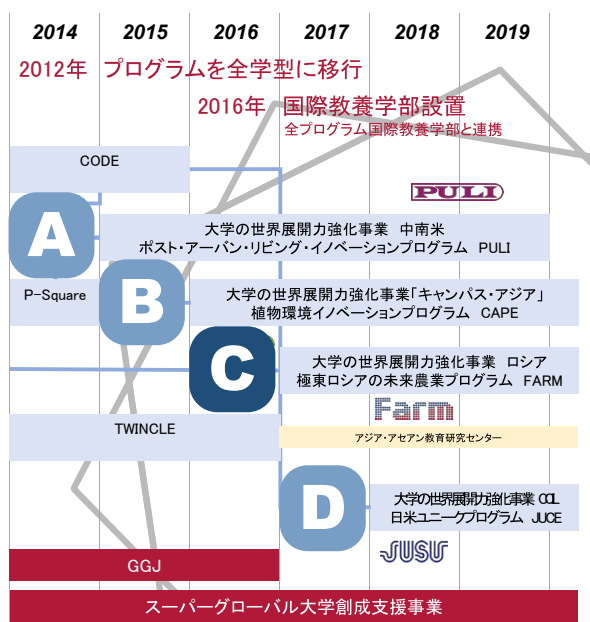
C FARM
未来農業をロシアと日本で実践

本部が計画立案し環境健康フィールド科学センターが申請
農林水産省植物工場実証・展示・研修事業の成果を利用
P-Squareの成果とCAPEの成果を利用

環境健康フィールド科学センターで実施
全学の教育・研究拠点
どの学部・研究科からでも参加可能
学部・大学院で全学対応型の授業を実施

サンドイッチ型の教育・研究プログラムを設置
学部からの系統的なステップアップ型プログラム
太陽光型と人工光型の2つの実践プログラムを実施

学内インターンシップを最大限に利用
植物工場実証実験企業の学内インターンシップを利用
実践型教育を企業と連携して実施
PBLやインターンシップを最大限に利用
ワンストップ・キャンパス 授業+インターンシップ+寮



全学提案型 & 複数担当部局オーナーシップ・プログラムへ

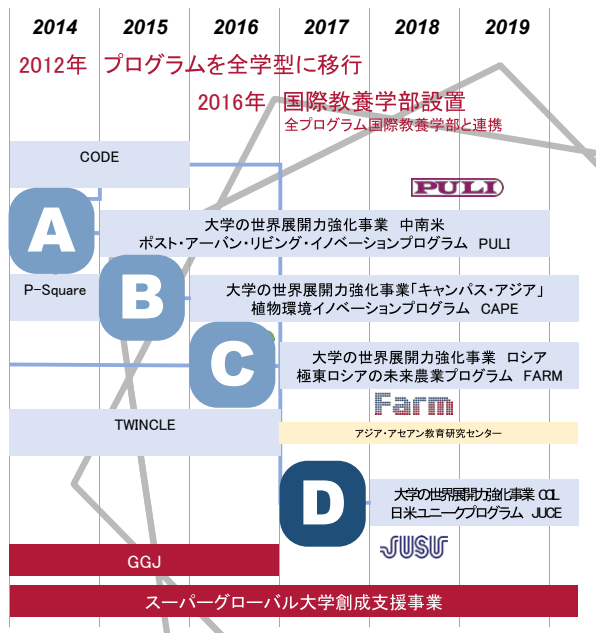
D JUSU スマートラーニングを実践する

本部が計画立案し申請
大学の機能強化戦略と合致した申請を実施
スマート・ラーニングの本格的実施にシグナロ
大学内外+国内外どこでも学習できる環境を実現

国際教養学部がオーナーシップ
教育・看護・薬・国際教養・工・園芸で授業実施
24のプログラムを5年間で開発

連携大学ごとに部局を決定
シンシナティ 国際教養 工 文 薬
アラバマ 看護 教育 工
ニュースクール 国際教養 工
ストーニーブルック 国際教養 文

プログラムは学部・大学院ともに全学提供
国際日本学プログラム
大学院共通教育プログラム

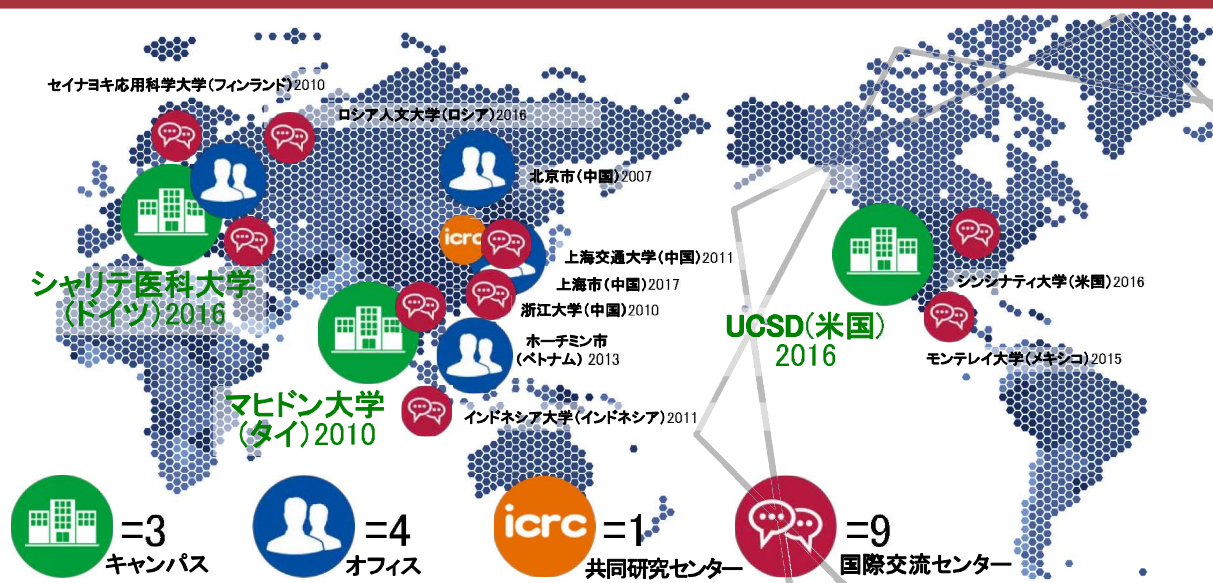


全学提案型 & 複数担当部局オーナーシップ・プログラムは学長のマネジメント

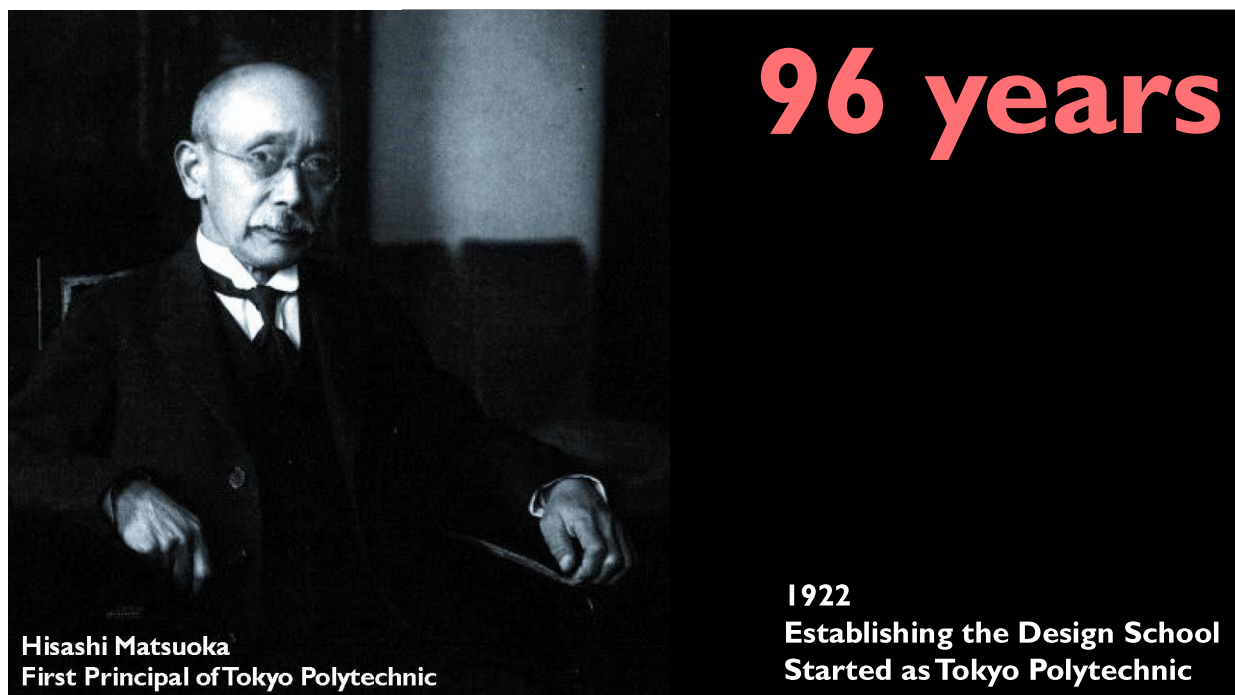


参考：千葉大学の機能別グローバル拠点

CAMPUS + OFFICE + ICRC + IEC

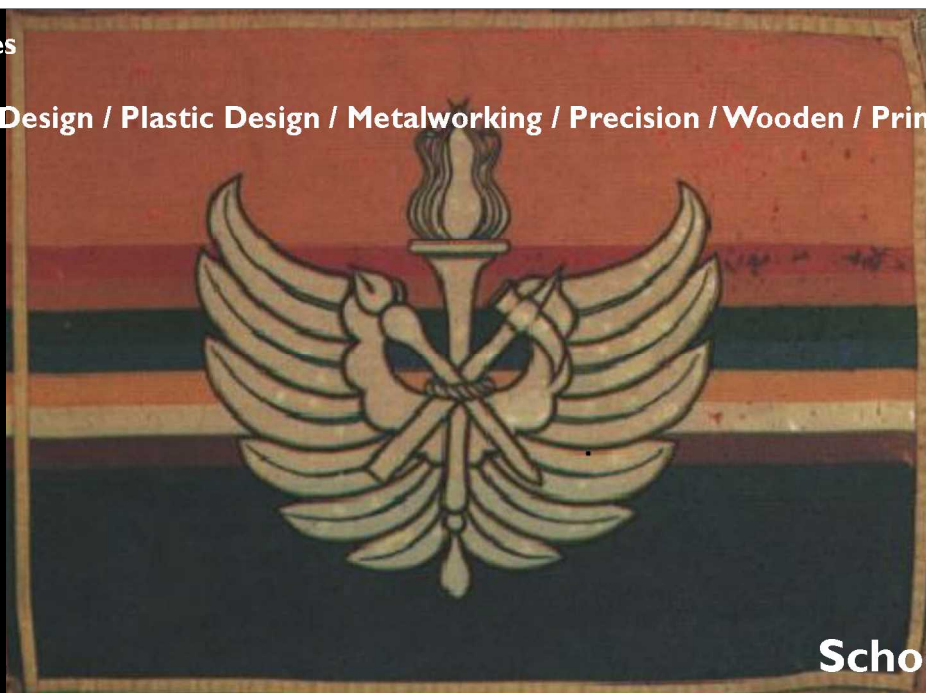


design
chiba university

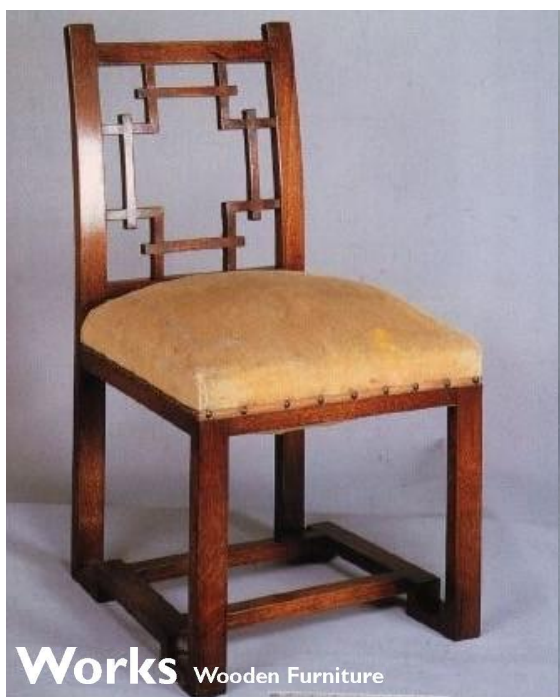


6 Courses

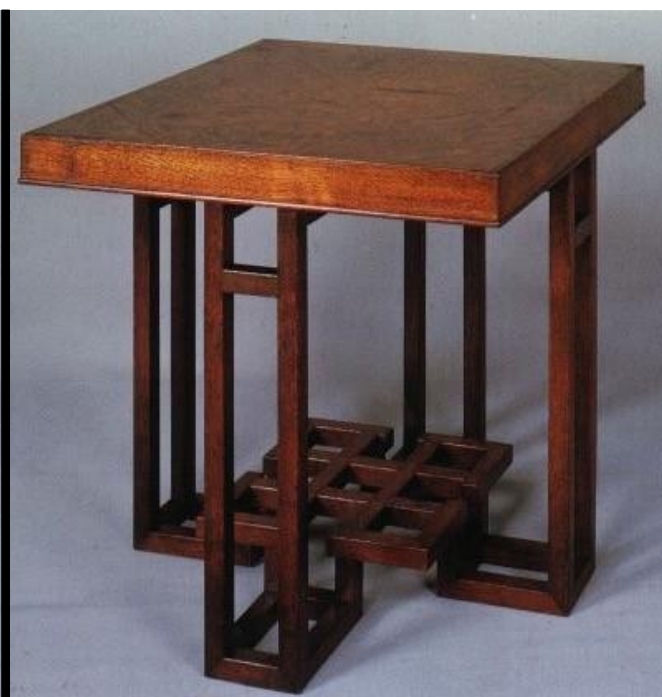
Graphic Design / Plastic Design / Metalworking / Precision / Wooden / Printing



School Flag



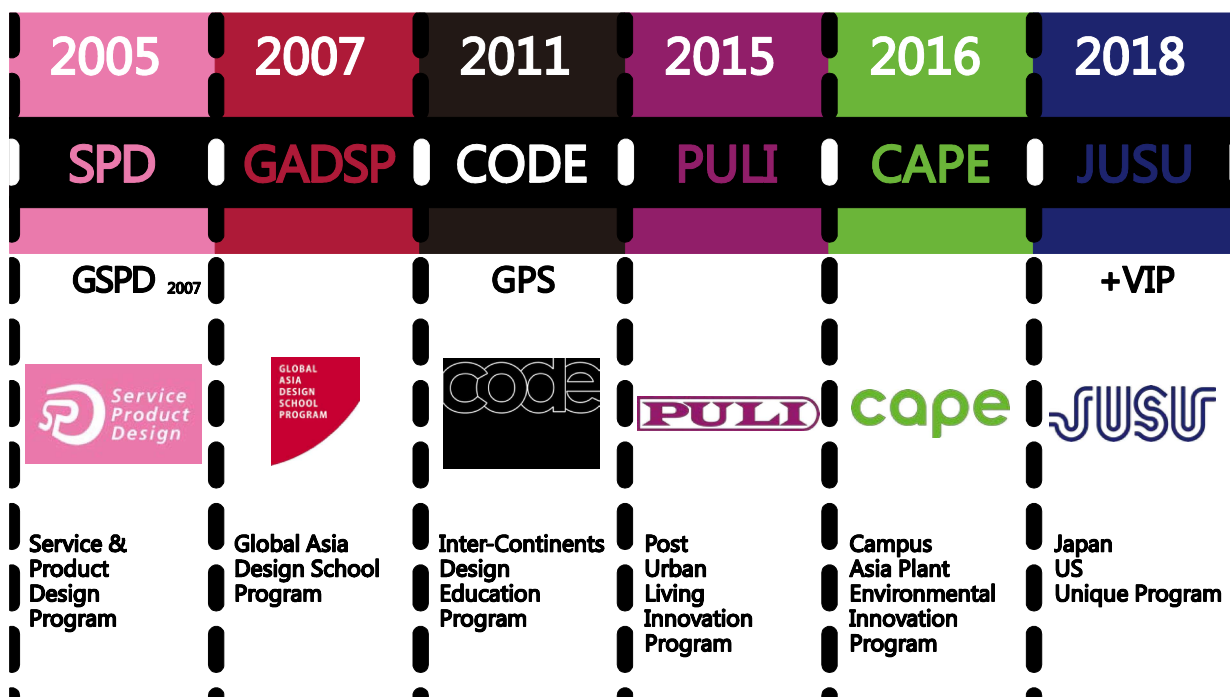
Works Wooden Furniture





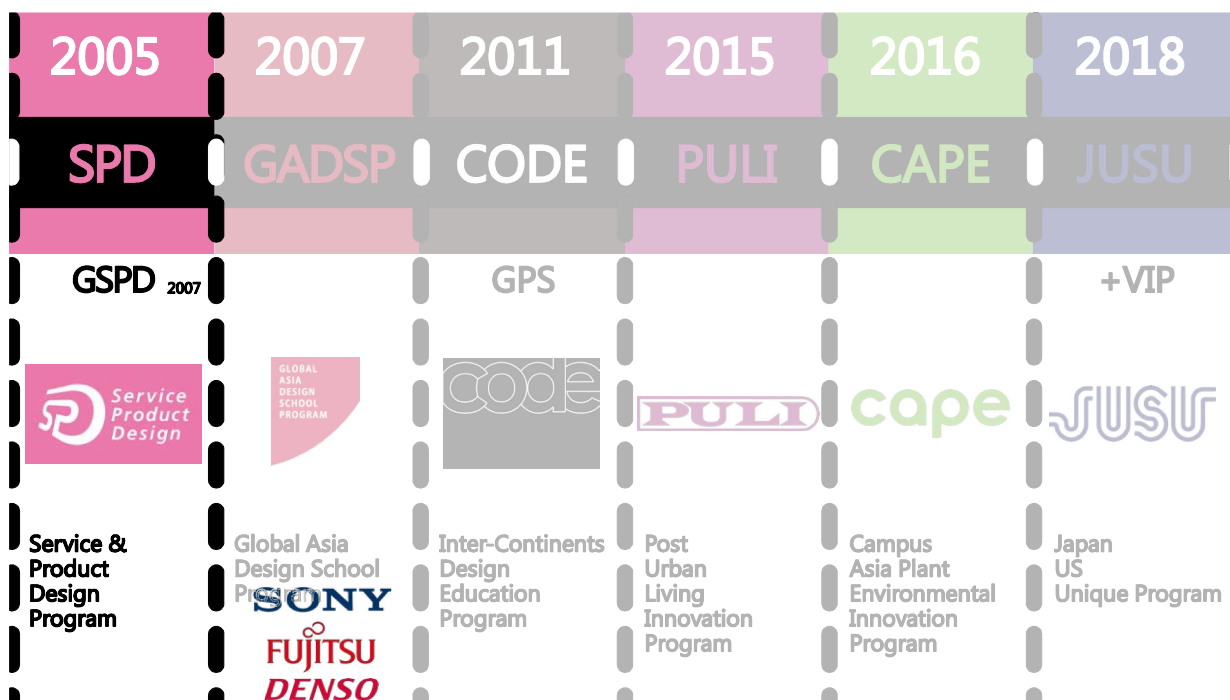






Chiba University Global Connections





*Service
Product
Design*

since 2007

LECTURES

Service Design

First term, Wednesday, Period 4-5

Supported by
FUJITSU DESIGN LIMITED
/ AKIHIKO ISHIZUKA

The lecturer introduced the different cases of the solutions of finance, public, education and medical system that Fujitsu has been offering. Also, IT solution design and the business processes were taught under the theme of "IT for the Field Innovation".

KEYWORDS

- IT Solution
- Business Model
- New Service

Studio Work ▶

The studio work had been executed under the theme of proposing new service based on "UBWALL", a large screen information terminal, that Fujitsu offered. Each team chose the different using scene and made presentation of new service design.



Service Design Strategy

First term, Tuesday, Period 4-5

Supported by
Human Interactive Technology Inc.
/ SHIGEHICO IKEUCHI

The basis of the operation business of the information system was learnt through ITIL (Information Technology Infrastructure Library), which is the framework to provide IT service.

KEYWORDS

- ITIL
- Mash Up
- PHP Language

Studio Work ▶

Through the studio work, students proposed new web services based on the method of "mash up" as the practice of learning mechanism and idea of ITIL, and acquired the programming skill of PHP language.



Design Engineering

Second term, Wednesday, Period 4-5

Supported by
Human GK TECH Inc.
/ RYUICHI IWAMASA

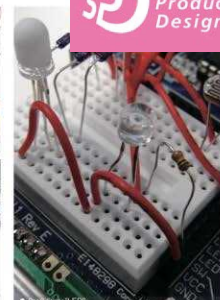
The past project works of exhibitions as well as interactions done by GK TECH Inc. were introduced during the lecture and students had chances to learn the engineering knowledge expected for service & product design.

KEYWORDS

- Programming Skill
- Electric Circuit
- New Interaction

Studio Work ▶

The skill of programming and wiring with different sensors on the actual circuit was acquired by the studio work. Students carried out the task of developing and proposing a new interaction design according to their own concepts.



Design Solution Planning

Second term, Tuesday, Period 4-5

Supported by
Human Interface Inc.
/ MITSUGU OBATA

During the lecture, the technique of usability test and the way of thinking about usability evaluation to designed products were obtained by case studies.

KEYWORDS

- Usability Evaluation
- Testee
- Design Improvement

Studio Work ▶

Each team conducted the experiment of usability evaluation based on the self-developed plan. Through the practices with invited testees, students were able to learn the entire flow of the usability evaluation from the data extraction to suggestions for improvement.





WORKS



WORKS



Introduction

This workshop has been held in October 5th - 9th. In this workshop, the theme is connected toys. We can create new kinds of toys that feature network connections and connect to services with inexpensive and ubiquitous network access. The toys and services should be suitable for young children (age 3-5).

We can either choose an existing service and develop a new toy that connects to it, or you can start with an existing toy and develop a service to enhance the use of that toy. When we start out with a toy, we think about how the addition of a network connection would change existing toys. Is it possible to design services around archetypal toys like dolls, footballs, model cars or train sets? In order to communicate the results of our work, we produce imagined 'evidence' of our toys services: rather than trying to prototype a working device or service, we illustrate the proposed experience by creating by-products such as brochures, advertisements, reviews, packaging or traces of play.

Schedule



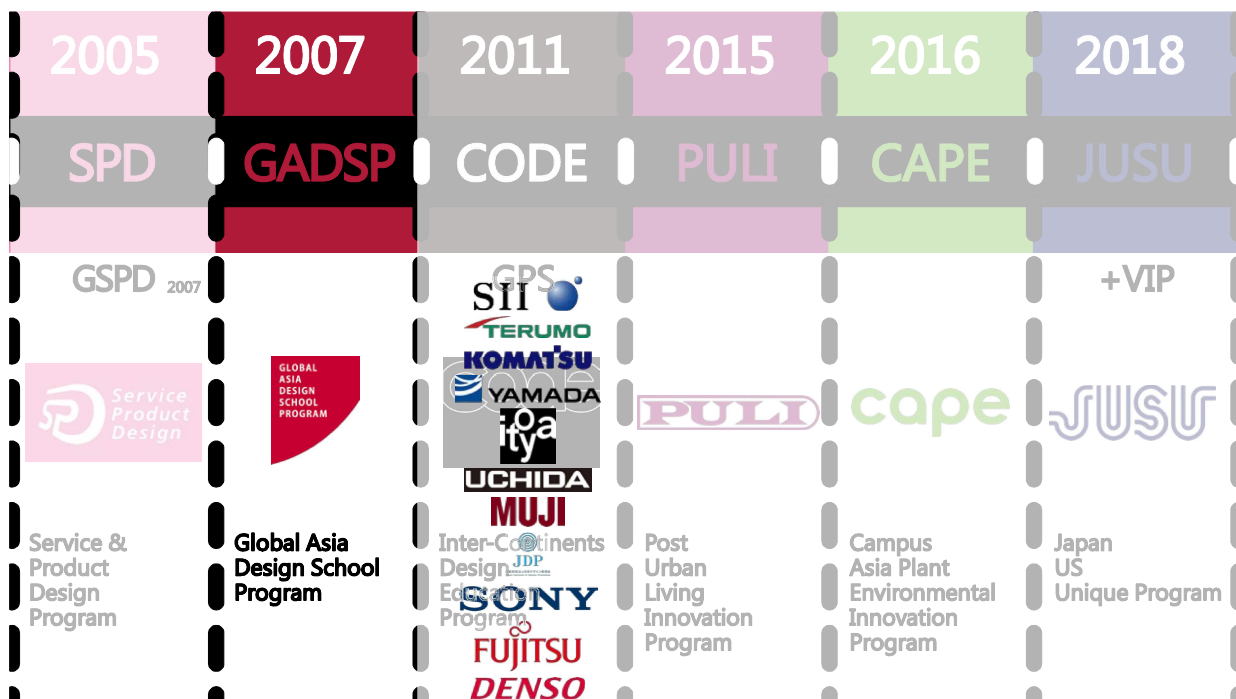
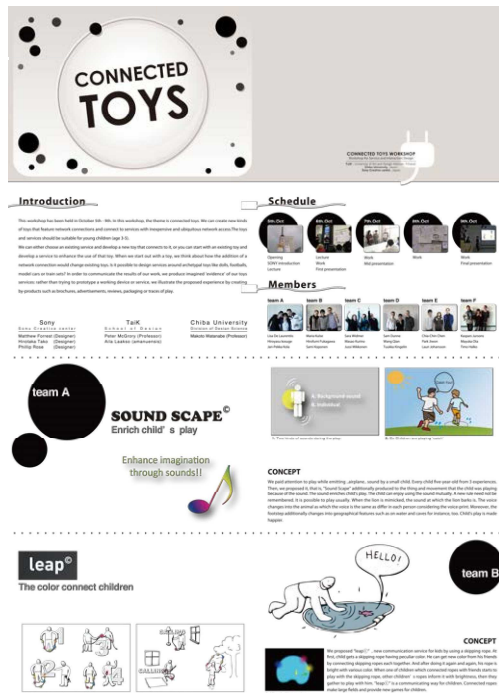
Members

Sony
Sony Creative center
Matthew Forrest (Designer)
Hirotsuka Tako (Designer)
Philip Rose (Designer)

TaiK
School of Design
Peter McGrory (Professor)
Aila Laakso (amanuensis)

Chiba University
Division of Design Science
Makoto Watanabe (Professor)







Global Asia Design School Program

Study and Work in Japan

Professional Master & PhD Program

China
Korea
Thailand
Malaysia
Indonesia
Singapore

MADE Program (2013-)
Master of Asia Design Education Program

GLOBAL ASIA DESIGN SCHOOL PROGRAM



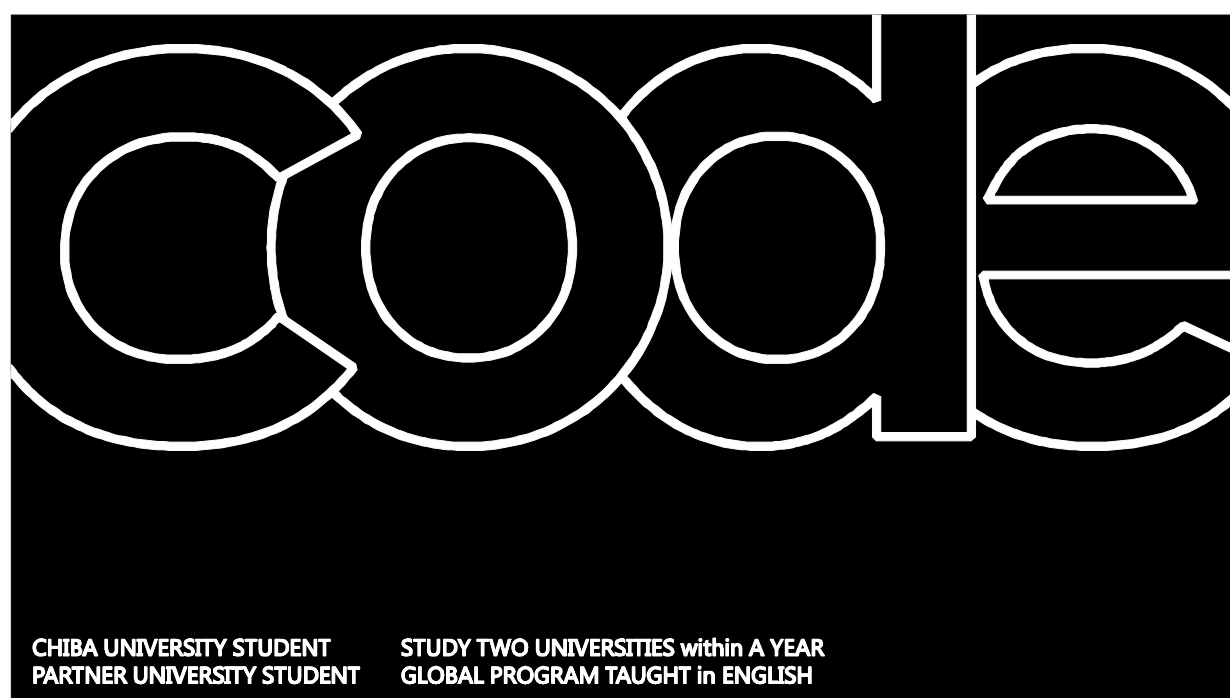
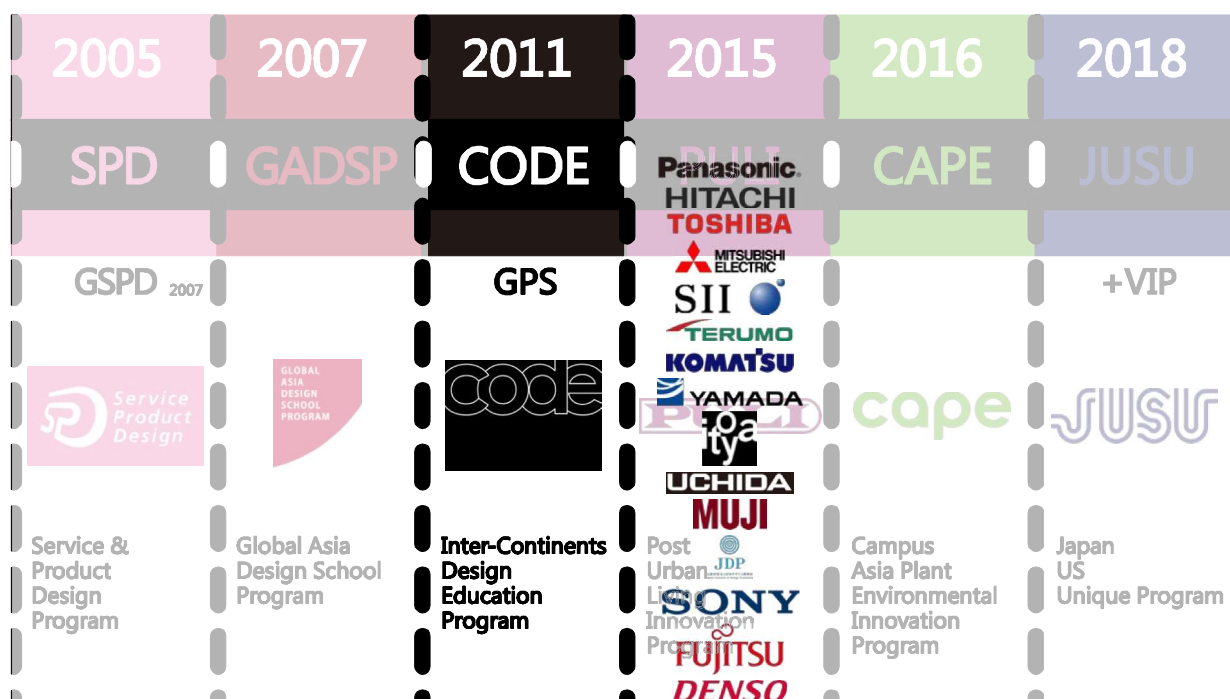
Study New Design Area

DESIGN in BUSINESS
DESIGN and Social Innovation
DESIGN Engineering
DESIGN Management

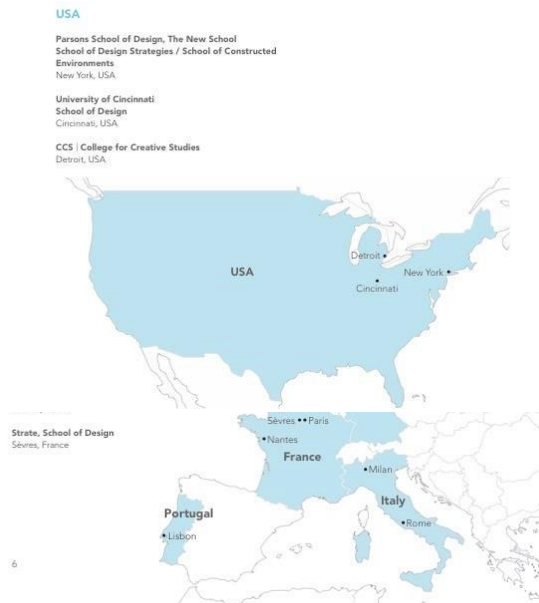
REGIONAL DESIGN
INCLUSIVE DESIGN
SUSTAINABLE DESIGN

GLOBAL ASIA DESIGN SCHOOL PROGRAM

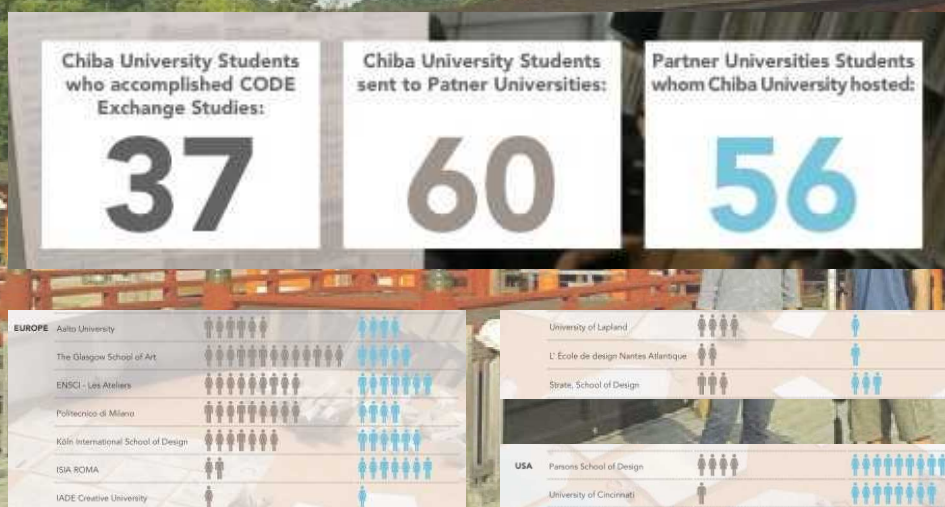


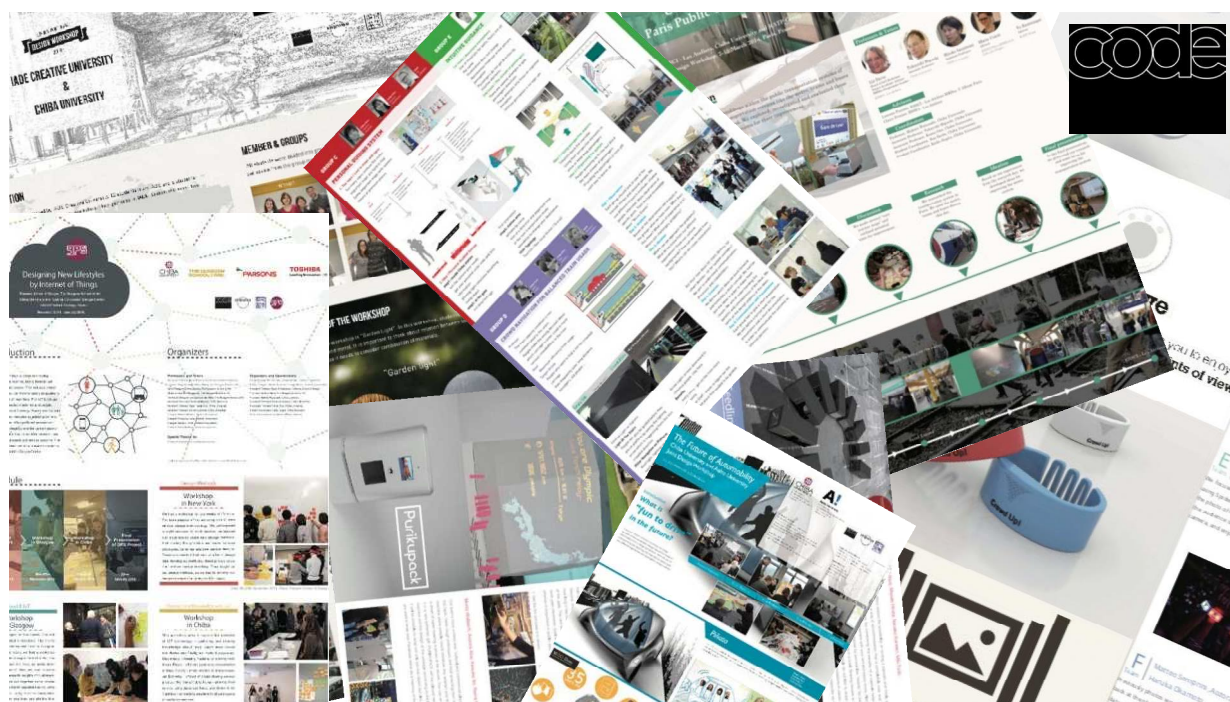
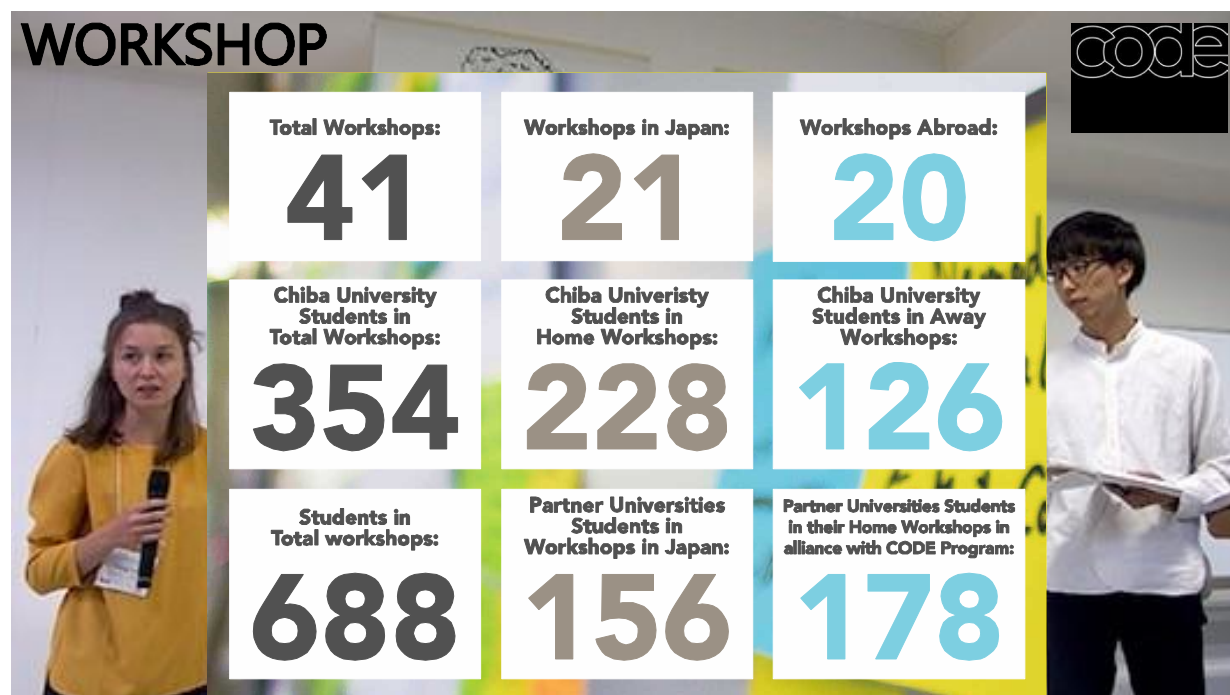


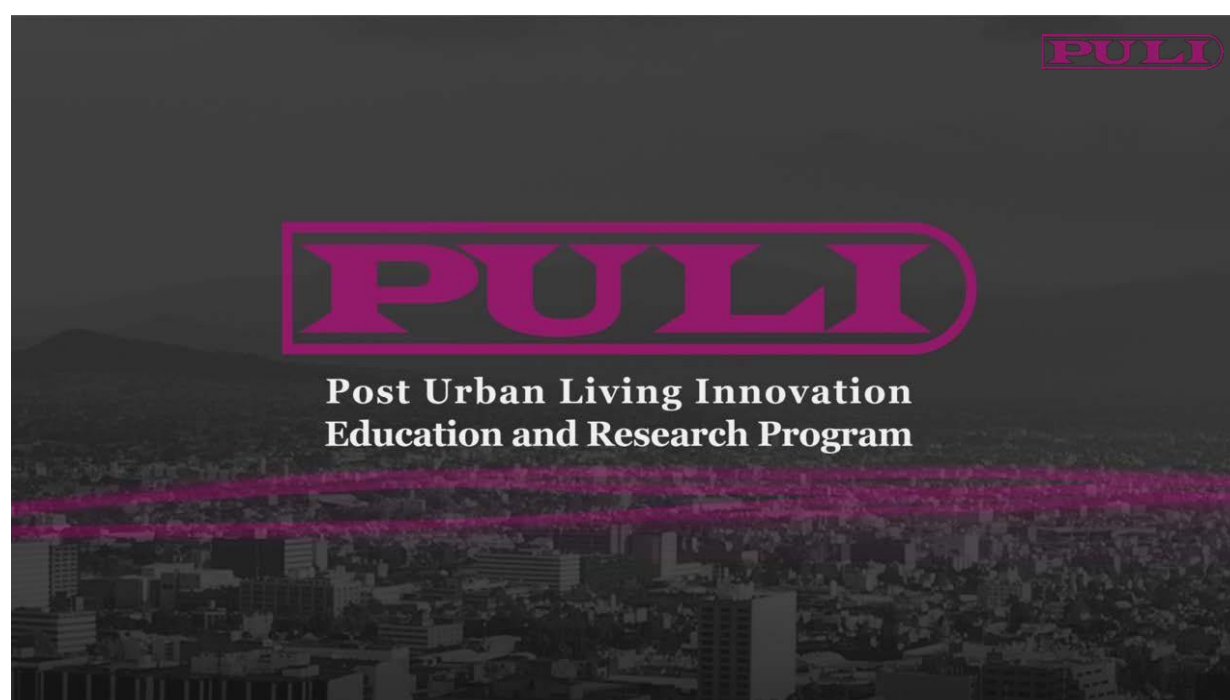
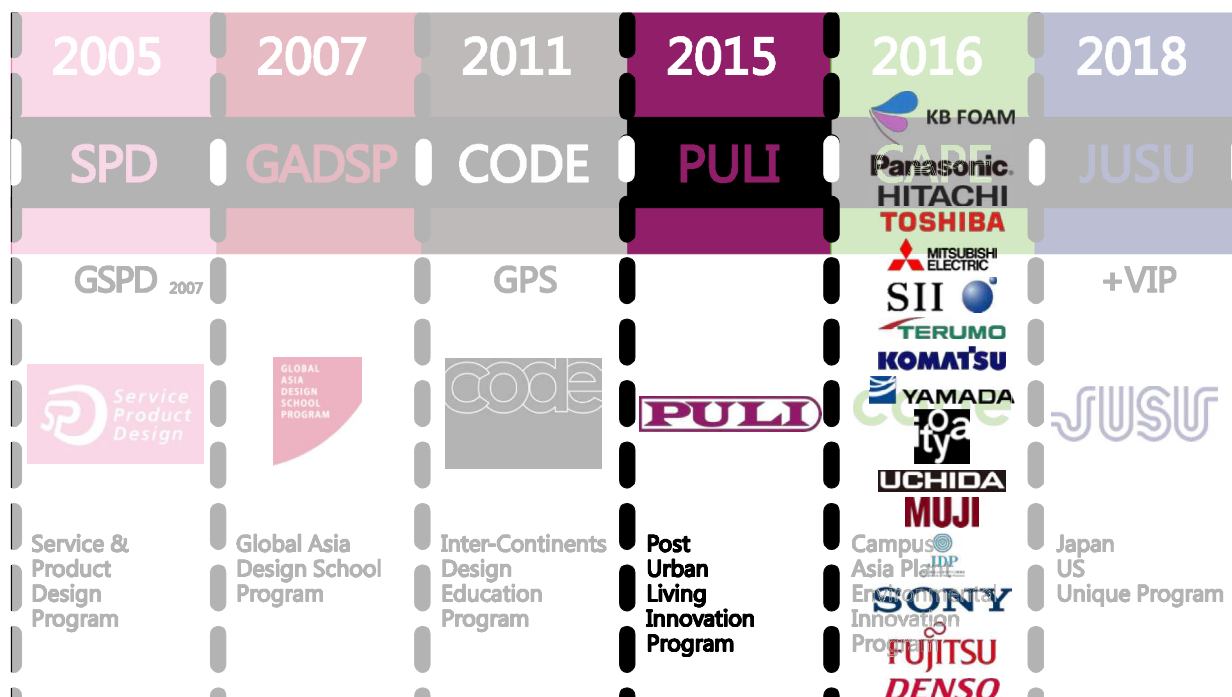
13 CODE PARTNER UNIVERSITIES



EXCHANGE STUDENT







Running SIX Projects

PULI 001

ICT Future House
Design Against Crime Project

UDEM



PULI 002

Hydrogen Station
Future City by Hydrogen Energy



PULI 003

QOL for Over Crowded City
Metropolitan Structure and Facade

UDEM



PULI 004

Living Environmental Project
Regional Renewing



Universidad Veracruzana



PULI 005

Metropolitan Greening
Edible Garden Development



PULI 006

Future House LABO
Container House Project



UNIVERSIDAD
PANAMERICANA
Campus Aguascalientes



PULI

PULI

Number of Exchange Students

FY 2015-2017

PULI

to Japan

149

Total

279

to Mexico

130

Type of Exchange Studying

Bachelor

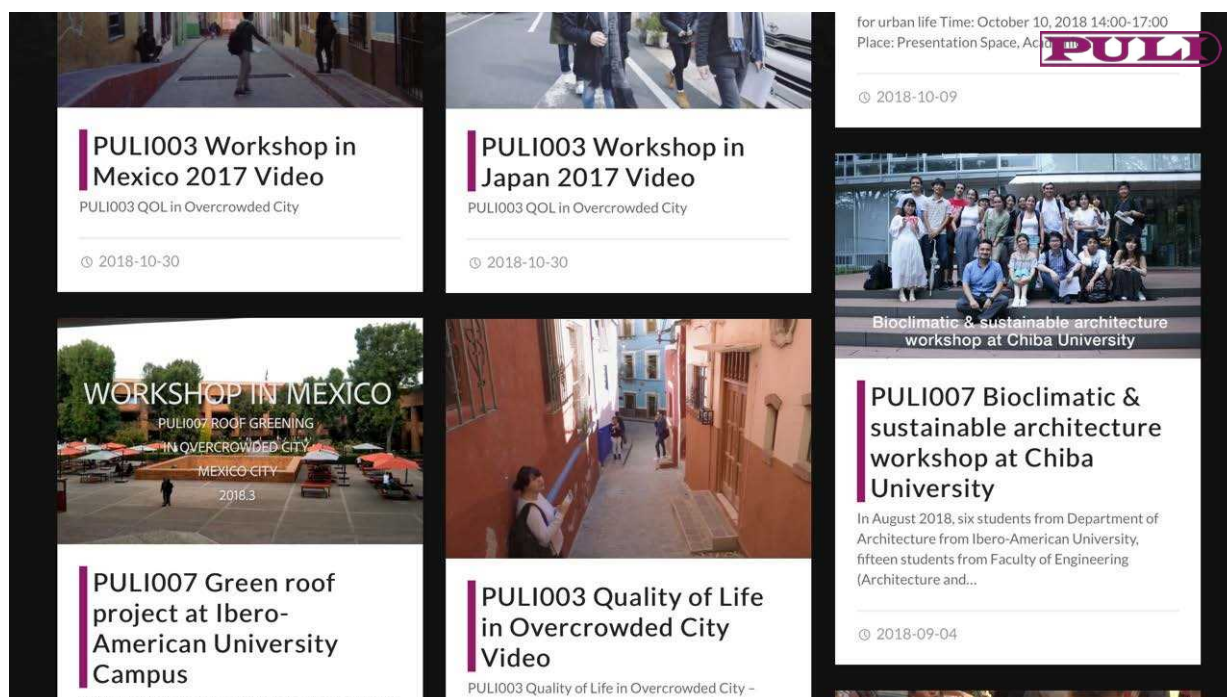
Workshop / Semester Program / Internship Program

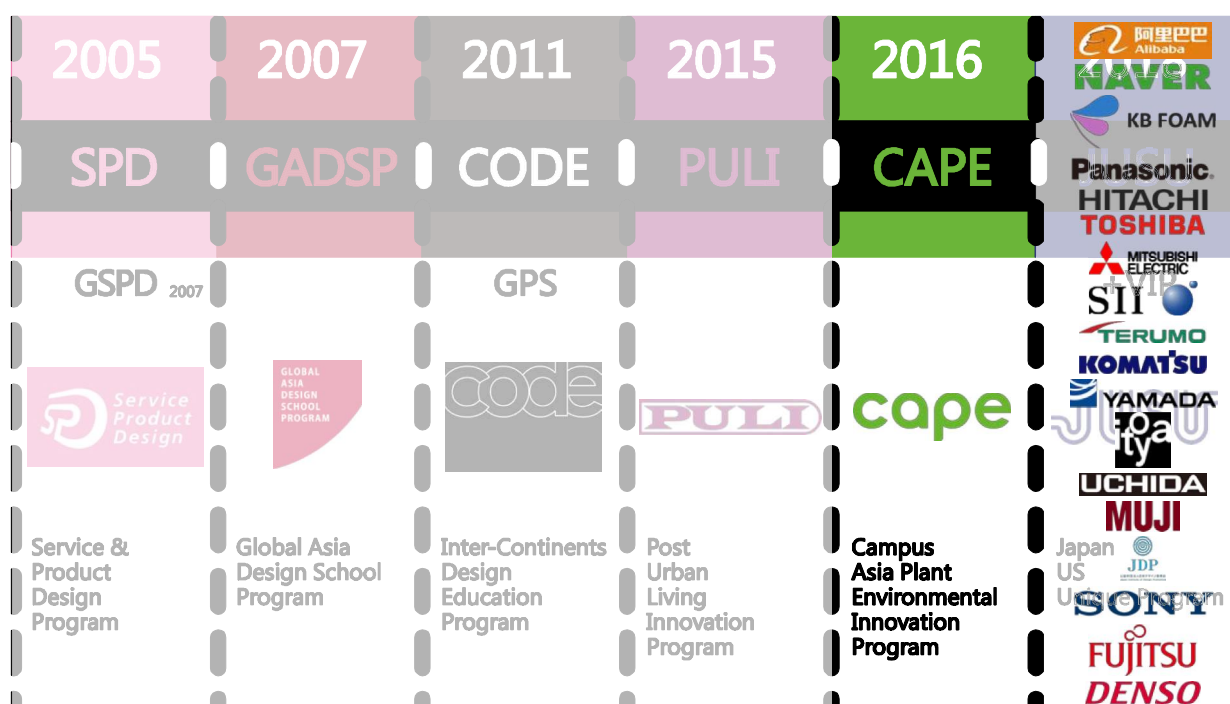
Master Course

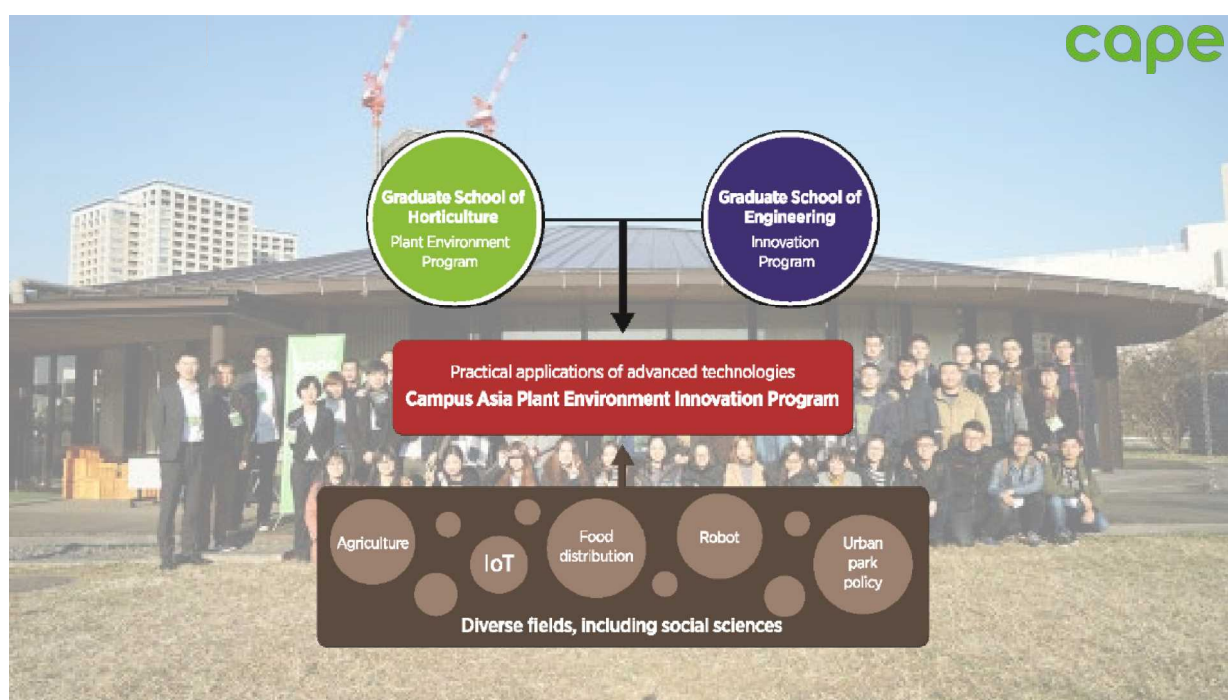
Workshop / Internship Program / Project Work

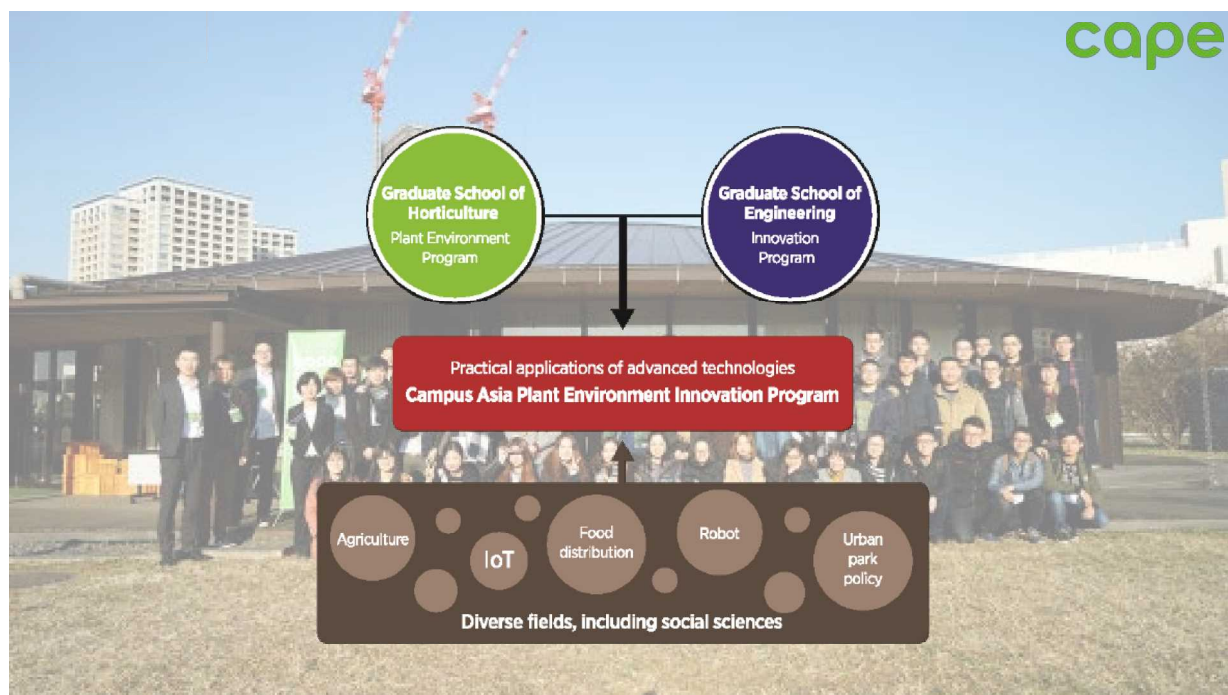
Doctoral Course

Project Management / Research Program









PLANT ENVIRONMENT INNOVATION : cape

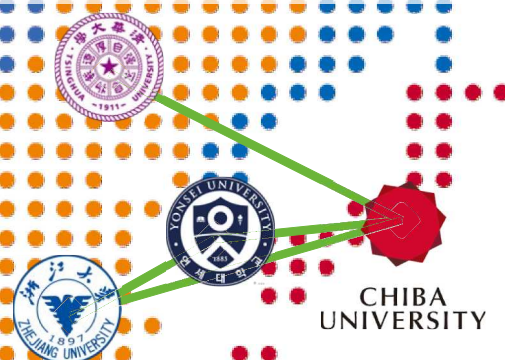
AGRICULTURE SIXTH INDUSTRIALIZATION

LANDSCAPE

PLANT FACTORY

E-COMMERCE

AGRI-BUSINESS



TSINGHUA UNIVERSITY ZHEJIANG UNIVERSITY
YONSEI UNIVERSITY CHIBA UNIVERSITY



FUNFOOD Expected Benefit for Foreign Tourists

'A' Team suggested to people to food information applicaiton. it have 3 benefits. First, people can get food information quickly and easily. Second, they don't need other's help for Information. Last, they can avoid foods that they don't want.



Background
Goal For the Disabled
More Productivity

Target
Developmental Disorder
Aggressive behavior
Fearfulness or anxiety
6-7 year old kid's intelligence
Feel difficulty in concentrating



8



Herbie Farm

cape

Background
Goal Smart farm For disabled
Make more harvest

Target
Persons with Developmental Disabilities

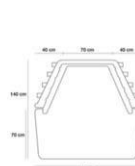
Concept
Enjoy with Herbie!



Solution 1 : Communicate with Herbie!

- Help developmental disabled to understand how to do task

- Communicate with developmental disabled



Advantage

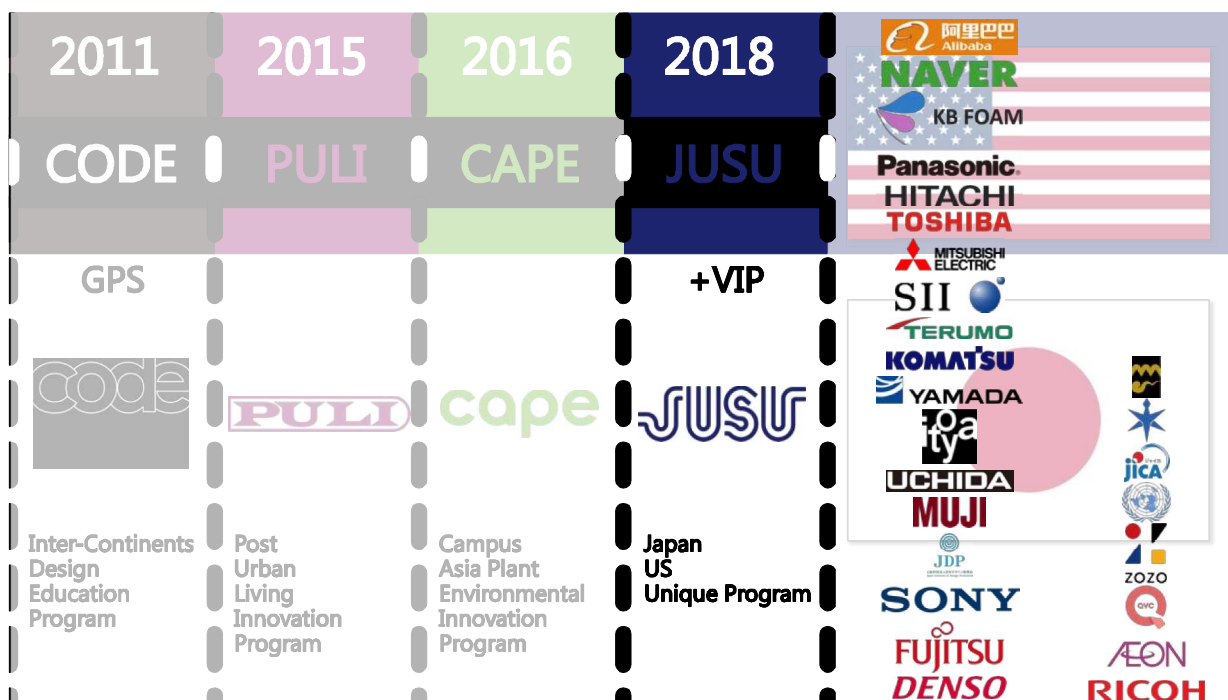
1. We can plant more crops.

2. Space can be used efficiently. 3. It can reduce working time.



2017 Summer Design Workshop in KOREA

9



Japan-U.S. Unique Program using COIL

Foster the development of
"human resources capable of creating future employment"
 Self-design major of the International Graduate School of Liberal Arts and Sciences is to be launched in 2020.
 Participating students = Students who can create new majors on their own from a broad perspective

Develop new modes of learning with Smart COIL
 Smart Learning (possible to study anywhere) + COIL (online international joint study)
 Environment where students study off campus through the use of e-learning, video content, internet classes, and social media

Six characteristic strategies for assuring the quality of education

1. Establish a mutual guarantee based on a curriculum and learning agreement
2. Conduct invitation-only classes on research units in the graduate school minor program
3. Establish a system for sending and receiving students smoothly through the use of a six-term system
4. Develop a self-design major
5. Broaden the International Japanese Studies minor
6. Develop a double degree

Google

4  **Subjects studied only at 4 universities in the U.S.**
Conduct COIL in the characteristic fields of the 4 universities. Entice Japanese students to study overseas with unique programs

12  **University of Alabama**
Social Education
(1) Social Education
(2) Civil Study
(3) Global IPE

University of Cincinnati
 **Cosmetic Science**
(1) Cosmetic Science
(2) Business
(3) Landscape

The New School
 **Business Design**
(1) Business Innovation
(2) Design Thinking
(3) Service Design

Stony Brook University
 **Entertainment**
(1) Art & Entertainment
(2) American Literature
(3) Wellness

COIL JUSU (Japan-U.S. Unique) Program
Achieve a high level of international joint education by having students mutually share their knowledge & skills

12  **CHIBA UNIVERSITY**
School of Nursing
1. Disaster nursing, first-aid nursing
2. Aged care, healthcare for the aged
3. Global IPE
4. Medical engineering, healthcare system
Faculty of Horticulture
1. Comprehensive Artificial Plant Factory
2. Landscape Architecture
3. Urban greening, environmental issues
4. Image sensing
Liberal Arts and Sciences
1. Noh and Kyogen, Japanese traditional performing arts
2. Zen and Japanese culture
3. Agriculture as a "sixth industry"
4. Community regeneration care
The programs will be led by the School of Nursing, Faculty of Horticulture, and College of Liberal Arts and Sciences, faculties that no other national university has

50 **Volunteer**
International organizations: WHO, IICA, Chiba Prefecture public institutions
Internship
Distribution business, IoT companies, Agriculture + 6th Industry
Professional Study
University hospitals, farm fields, National Museum of Japanese History

Planned internship in US companies: P&G, University of Alabama, venture companies, etc.

COIL + VIP Program
Conduct social learning linked with COIL.
Plans for participation of 25 Japanese students + 25 American students in the full COIL + VIP program

Volunteer Internship Professional Study

2 KEY FACTORS **2011** **2018**

SPD **GADSP** **CODE** **PULI** **NAVER** **KB FOAM** **JUSU**

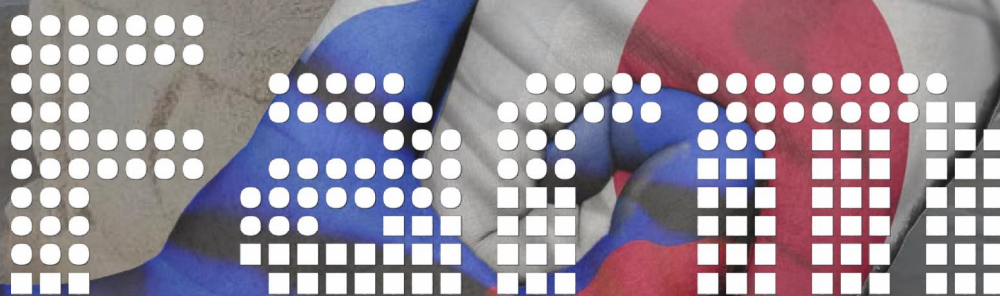
GSPD **GLOBAL EDUCATION** **GLOBAL COOPERATION** **PARANONIC** **HITACHI** **TOSHIBA** **+VIP**

Service Product Design **GLOBAL ASIA DESIGN SCHOOL** **CODE** **PULI** **MITSUBISHI ELECTRIC** **SII** **TERUMO** **KOMATSU** **YAMADA** **coo ty** **UCHIDA** **MUJI** **JUSU**

Service & Product Design Program **Global Asia Design School Program** **Code** **Urban Living Innovation Program** **Campus Asia Platform** **SONY** **FUJITSU** **DENSO** **Japan US Unique Program** **AEON** **RICOH**

**design
chiba university**

END



Future Agriculture with Russia Pre-Master to PhD Program

SUN LIGHT PLANT FACTORY
TRAINING

Artificial Light Plant Factory
Not affected by the climate
Integrated production and sales model
Adjustment technology for high altitude environments

Farm FUTURE AGRI

**Developing Future Agriculture Specialist
Extreme Environment Arctic Areas
Japan and Far-east Russia Working Together**

Mega Greenhouses Management Transfer Japan Cutting-Edge Technology

Large-scale Greenhouses Professional
J Student
CHIBA UNIVERSITY
Chiba University

Agri-business Professional
J & R Student
The Sakhalin State University

Greenhouse Professors
R Student
Primorskaya State Academy of Agriculture



